

(様式2・中学校用)

平成30年度 学 校 評 価 報 告

草加市立谷塚中学校

(平成31年2月8日作成)

1 学校教育目標	
学び合う生徒（知） 思いやる生徒（徳） 高め合う生徒（体） 校訓「文武両道」	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
1 信頼される学校 2 確かな学力の育成 3 豊かな心の育成 4 健やかな体の育成 5 教育課程の改善	成果 学校組織を活かし、各教員の授業力を高めるための研修会等を実践できた。 ○落ち着いた環境を作ることにより、授業へ集中して取り組める生徒が増えた。 課題 さらなる学校の組織力の向上に努め、基本的生活習慣や学習規律の確立を進めていく。 谷塚中独自の言語活動を充実した授業システムを確立するとともにアクティブラーニングを取り入れた授業を展開する。

4 評価表 評価基準〔A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である〕					
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	成果 課題
学校運営に関するもの	組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	学校経営方針に沿って各分掌が組織的に活動できた。研修会や職員会議等では校務用パソコンを活用して効率的に実施できた。 各分掌組織の見直し、及び適材適所を更に進めて、より機能的で機動的な組織運営を推進していく。	
	研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	課題に対し、目的意識を持って、全教科で指導法の改善に取り組んだ。特に各教科ごとにICTの活用など積極的に研究がされた。 指導法の工夫改善が具体的に諸調査の結果にあらわれるように、より取組を強化していく。また「話し合い活動」に力を入れ、「谷塚中言語活動」としての形を作っていく。	
	保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	学校保健計画、学校安全計画をもとに保健指導や安全指導の充実を推進した。 日々の健康観察の徹底を図り、生徒の健康管理に積極的に取り組んだ。 危機管理マニュアルの見直しを実施し、教職員への周知徹底を図っていく。	

情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 	B	<p>個人情報において校内規定のもと、管理徹底が図れた。また、校務用パソコンを全教職員が活用し、個人情報の取り扱いの意識向上が図れた。</p> <p>危険、修繕箇所を迅速に把握し、市教委とも連携して速やかに修繕・改善が図れた。</p> <p>施設の老朽化を考慮し、市教委と連携しながら、計画的な修繕を進めていく。</p>
地域との連携・開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校評議員の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 	A	<p>学校ＨＰの定期的な更新や学校便りなど各種便りやメール配信を通じて情報を発信した。また、学校公開や学校めぐりも計画的に実施できた。</p> <p>学校評議員会は年２回実施し、現状報告、学校評価をもとにご意見をいただき、学校経営の改善に取り組んだ。</p> <p>行事の積極的な参加呼びかけや交流活動、地域人材活用も行っていく。</p>
幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の実現に向けた取組 ・教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	B	<p>計画的に小中一貫の取組（教職員研修、行事交流、授業交流など）を実施できた。</p> <p>幼保連携は吹奏楽部の交流や社会体験の協力などを通して実施できた。</p> <p>幼保との連携、小中一貫教育の取組をさらに効果的に進め、「谷塚中学校区」としての学習の取り組みを確立していく。</p>

（様式２・中学校用）

草加市立谷塚中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	成果	課題
教育活動に関するもの	教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	A	<p>学校教育計画のもと、各教科及び領域の授業時数の確保を図ることができた。</p> <p>学習指導要領の内容をもとに年間指導計画や学習シラバスがほぼ予定通りに実施できた。</p> <p>行事の精選を含め、授業時数の確保を一層推進していく。</p>		
	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・わかる授業づくり ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	A	<p>各教科ごとに「わかる授業」を実践して指導方法の改善に取り組んだ。また、ICT機器の授業での活用について各教科で実践した。</p> <p>より効果的なICTの活用について研究を進めていく。</p> <p>各教科・領域で言語活動を充実させ、「谷塚中学校の話し合い活動」を形成していく。</p>		
	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<p>道徳の授業時数の確保と「評価」を先行して行った。また、各教科や領域と関連を図り、道徳的実践力を向上させることができた。</p> <p>道徳の教科化に伴い、指導計画や評価方法を見直していく。また指導法の改善を図っていく。</p>		

特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・生徒会活動 	A	<p>特別活動の年間計画のもと、集団活動を通して積極的に集団に参加する態度を育成することができた。</p> <p>更に常時の生徒活動を積極的に取り入れ、生徒の自治能力の向上を目指していく。</p>
「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 	B	<p>各学年の実態に合わせた指導計画に基づいて自ら考え、興味・関心に応じたテーマを選択し、活動を実践することができた。</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の観点から話し合い活動や発表の仕方など、学校としての取り組み方を考えていく。</p>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、生徒理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>生徒指導部を中心に組織的・迅速に問題行動への対処が行われた。また、教育相談的な手法も積極的に取り入れながら、生徒理解に努めて生徒指導を実践できた。</p> <p>より機動的な生徒指導体制の充実を図ると共に「信頼関係」に基づいた生徒指導を実践し、生徒一人ひとりの基本的生活習慣をより確立させていく。</p>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的なキャリア教育 ・指導方法の工夫と改善 ・啓発的経験の充実 ・進路情報の収集、活用 ・職場体験活動 	A	<p>進路指導部を中心に特色のある進路指導が実践された。また、最新の進路情報が発信され、学校全体で共有された。</p> <p>本校独自の進路キャリア教育の指導計画を見直していく必要がある。</p>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	A	<p>生徒個々の実態を把握し、適切な個別計画に基づいた指導が行われた。また通常学級の生徒が特別支援学級への通級をするなど積極的に交流が進められた。</p> <p>通常級にもまだまだ「個に応じた指導計画」を必要とする生徒もいるので、適切な支援計画、指導体制を充実し、更に市教育支援室など関係機関との連携を推進していく。</p>
学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<p>学校図書館教育の指導計画のもと、司書教諭及び学校司書を中心に朝の読書活動、本の貸し出しなど図書館利用を積極的に行うことができた。</p> <p>図書館利用をさらに増やし、読書活動をさらに活発化していく。</p>
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	A	<p>校内研修会や研究授業等でICT機器を活用した研修や授業を積極的に行うことができた。</p> <p>学力向上に向けてICT機器を効果的に授業に活用できるようにICT指導員の講習を基に指導法を研究していく。</p>
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○普段の指導や道徳等の時間で、DVDの視聴などで人権について考える時間を多く設定した。</p> <p>人権教育を実施するにあたり、人権や同和問題に対する知識を得るために更に研修に励みたい。</p>

草加市立谷塚中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
特色ある学校づくり	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の確立 家庭学習の定着 指導法の工夫改善 	A	<p>○授業規律（谷塚中の授業6ヶ条）の定着、家庭学習の保護者へ呼びかけ、家庭学習ノートの活用などに努めた。また、学習会（定期テスト前）や本校独自のみつばち自習会を実施し、生徒の基礎的学力を高めた。</p> <p>○指導法改善のために、教科会を随時開き、谷塚中としての言語活動の充実、授業の進め方などを研修し、実践した。</p> <p>家庭との連携を強化し、生徒一人ひとりに家庭学習の習慣化を図っていく。</p>
	学校間連携教育	<ul style="list-style-type: none"> 校区内小学校、草加南とも連携、協力 近隣の地域の幼保との交流 	A	<p>近隣小学校（谷塚小、氷川小）とのあいさつ運動や音楽交流、草加南高校とのテスト前学習会交流や部活動交流など計画的に実施できた。また、校区内小学校の教職員との合同研修会や授業参観も計画的に実施でき、連携を推進できた。</p> <p>学校間連携の内容や時期などについて研究を積み重ねて、実のある交流を進めていく。</p>

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

研修主題「幼保小中を一貫した教育の取組を柱とする指導法の研究」を軸として学力向上を中心に生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせる指導法の研究に取り組んだ。特に教科で指導法の工夫改善に向けて実践や検討を重ねた結果、各種テストで課題が残った項目もあったが、概ね向上したと考える。特に授業規律に重点を置いたことで、基本的生活習慣の定着にもつながったと考える。また、家庭学習の重要性を呼びかけるとともに、家庭学習選手権などで競争意識を高揚するなどした結果、家庭学習ノートでの家庭学習の定着も図れてきた。生徒会活動、委員会活動などは生徒を中心に活発に活動し、学校行事も意欲的に取り組む生徒が多い。特に体育祭や合唱コンクールなどは保護者、地域の方々も多く来校していただき、高い評価をいただいた。

しかし学校評価保護者アンケート結果から、昨年度よりは向上しているが授業について不十分であるという回答もあり、学校の取組が保護者に届いていない面がある。また、諸調査から、学力の基礎基本が定着してない生徒もいる。

そのため、教員個々の授業力を向上させ、生徒一人ひとりの学習意欲を向上させる指導法の研究が必要であり、学校としても補習や学習会などを更に積極的に行うことが必要となる。また、学校からの情報提供や学校公開の機会を活用し、より保護者や地域に働きかけることが不可欠である。

6 次年度の改善策

・各教科で生徒一人ひとりの学習意欲を向上させる授業改善を進めていく。また、ICT機器を活用したり、言語活動を活発化したりして、授業の指導法の工夫を図ることにより、生徒に課題解決能力、応用力等も高めていく。そのためには一時間の授業を大切に、「授業のめあて」を提示し、生徒にとって「わかる授業」を展開していく。そして生徒の意欲を喚起させる評価方法の工夫を行い、「まとめの時間」をしっかりと毎時とり、自己評価を充実するとともに、シラバスを用い、学習意欲を向上させる研修を進めるなど具体的な計画を立案し、実践していく。

・道徳の教科化にあたり、道徳教育の計画や評価方法の見直しを図る。道徳の授業を充実させるために資料の共有化を進めていくとともに研修を積んで、思いやりの心を育て、心豊かな生徒の育成に努めていく。

・校舎等の老朽化の中、関連組織と連絡を取りつつ、学校全体で教育環境整備や校内美化活動を推進して、整備及び改善を図っていく。